

見えないものを見ようとする
時代は終わったと思います。

■ iCATをお知りになったきっかけは何でしょうか？

かなり前に日本製のいいインプラントのシミュレーションソフトが出たと聞いたのが最初です。その後、当時の勤務先でソフトを導入することになり、いくつかの候補からiCATさんのセミナーに行って、導入しました。インプラント治療の際に、患者さんによって治療のレベルに差があってはけません。こういうものがあるから使わせてほしいという、「先生のいいようにしてください。」という患者さんが多かったですね。

■ 断られるかもと思って言いにくいという先生も多いと聞きますが？

全然断られませんよ。断るのは、患者さんが医療ではなくインプラントという物を買いに来ているからだだと思います。ショッピング気分で過程はどうでもいいと思っているのではないのでしょうか。きちんと説明をすれば金額の話ではないですから……。自由診療がどうして増えるかという話を聞いても、みんな特別何もされてないんですよ。当たり前のことを伝えて、どうされますかって話をし、それで患者さんが希望されることが多いようです。

■ ご開業と同時にCTを導入しようと思われた理由は何でしょうか？

より良い治療をしようと思うと、インプラントでも、歯周病でもCTは必要だと常々思っていました。他の病院に撮りに行ってもらうのは大変ですし、もし何かトラブルがあった場合にぱっとその場でCTを撮れるのは安心感があります。そういったリスク管理の上でも必要だと思います。自分で医院を運営すると誰も守ってくれないので道具だけが頼りです。

■ インプラント以外でもCTが必要だと感じられたのはなぜですか？

まず、治療をする上で患者さんが視覚的に理解されていないと、治療には進めません。パノラマで「ここに病巣があるかもしれませ



ん」など「かも」で言われると納得して治療を受けられませんよね。それがCT画像によって明確に「炎症があります。治しましょう。」と言われると、例えば治療の結果が良くなかったとしても、患者さんは悪い状態を見ているので絶対納得すると思います。それがよく見えなかったところを治療されて結果が良くなかったら、「この先生大丈夫かな？」となりますよね。

見えないものを見ようとする時代は終わったと思います。もうCTとかマイクロで見えますから。見えると効果的な治療ができます。

■ RevoluX導入の決め手は何でしょうか？

以前、他の歯科用CTで「よく見えないな」と思いながら診断をしたことがあるのですが、そのデータでオベをすると、CT値が出てないので思ったより骨が軟らかいということがありました。そんなときに十河先生の講演を思い出して、CTの導入時はiCATさんの話を聞きたいと思って来ていただきました。営業の方もCTの知識がちゃんとあって、他社のCTのこともわかりながら、iCATのCTだとどういうメリットがあるかときっちりお話しいただいたので、納得して決めることができました。RevoluXだとCT値がきちんと出るということ以外では、それまでiCATのシステムを使っていたということも大きいですね。ソフトの使い勝手がいいのでずっと使いたいですから。

■ 今後のiCATに望まれることは？

iCATさんは目指すべきところが定まった地に足がついたメーカーだと思っています。講演を聞くとエビデンスもしっかりされていて、すごく勉強されている感じが分かります。自分たちでいろいろと研究もされているので安心です。これからもそのスタイルを変えずに頑張ってください。また色々教えてください。

本日はお忙しいところお時間を頂戴しましてありがとうございました。

